

## 葛飾区学校適正規模等に関する方針（構成案）

### 1 方針策定の背景

近年、全国的に少子化による人口減少が進展しており、本区においても、すでに著しく児童・生徒数が減少している区立学校がある

また、本区の小・中学校は築後相当の年数が経過し、全体的に施設の老朽化が進んでいる。

上記背景の下、子どもたちの教育環境の充実・向上を図るために、本区における学校の適正規模等に関する方針を策定する。

- (1) 学校の適正規模等を図る必要性
- (2) 今年度に方針を策定する意義

### 2 小・中学校を取り巻く状況

#### (1) 児童・生徒数の推移

- ・ 一校当たり児童・生徒数、学級数（小学校・中学校）の推移
- ・ 学校規模のひらき（児童・生徒数の人数格差の現状）
- ・ 単学級、小規模校の増加傾向について

【資料】基本計画策定時の人口ビジョンにおける将来人口推計 など

#### (2) 教育環境の変化

- ・ 35人学級の完全実施
- ・ 教員配置基準（小学校高学年における教科担任制の導入）

【資料】各学校校舎の建設年次一覧

校舎、体育館、プール等の改築年次一覧 など

### 3 本区における学校適正規模の考え方

小・中学校を取り巻く現状と課題を踏まえ、課題解決に向けた、本区の  
小・中学校における学級数、児童・生徒数の適正規模の考え方について記  
載する。

(1) 学校規模の小規模化における課題分析

(2) 本区における学校適正規模について

### 4 学校適正規模を維持していくための取組

本区における学校適正規模の考え方を踏まえ、適正規模を維持していくた  
めの今後の取組や、取組にあたっての留意点について記載する。

(1) 今後の取組について

(2) 取組にあたっての留意点